

園聖句：私はまことのぶどうの木、あなたがたはその枝である。(ヨハネによる福音書15章5節)

年主題：信じて～手と手をつないで～

月主題：いっしょに

月聖句：主よ、お話しください。僕は聞いております。サムエル記上3章9節

乳児月目標・神様から守られ、それぞれのペースで園生活に慣れていく

- ・遊びや自分の思いが大切にされていることを感じる
- ・まわりの人に気づき 共に過ごすことを喜ぶ
- ・好きな保育者のそばで、いろいろなものに手をのばす

幼児月目標・聖話の話や 讚美歌に親しむ

- ・春の自然や おもしろいこと 楽しいことに気づき関わろうとする
- ・自分が受け止められ安心を重ねていく中で好きな遊びや場所が見つかる

園庭で、こいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。子ども達も、こいのぼりのように元気に園生活をしてくれることを願っています。

今年度は新しいお友達 18人と、新しい職員 5人を迎えて保育がスタートして、早1ヶ月が経ちました。園での生活はいかがでしょうか。何か困った事や分からないことが有りましたら遠慮なく職員に聞いてください。

4月15日・22日に幼児さんの親子遠足がありました。お忙しい中参加して下さいました保護者の皆様、ありがとうございました。15日はあいにくの雨でしたが、両日共に「お山の散策」ができ、八瀬の自然を感じてくださったことと思います。

園では、子ども達の安全を一番に考え、今後も継続して感染拡大防止に向けた取り組みを行ってまいります。引き続き子ども達の健康管理・検温等のご協力をお願いします。(園長 中江奈穂美)

### 5月の行事予定

1日(月)～6月16日(金) ゆり個人面談期間 15:30～

6日(土) ちゅうりっぷクラス懇談会 9:15～10:45  
さくら・ばらグループ懇談会 9:15～10:45  
すみれクラス懇談会 13:30～15:00



11日(木) お弁当の日 \*ゆりぐみは、八瀬野外保育センターに出かけます。  
9時までに朝の準備が終えるように登園して下さい。雨天でも出かけます。

13日(土) 後援会総会(役員のみで行います。)

場所:桂教会(桂保育園の隣にあります) 10:00～11:00

15日(月)～31日(水) ちゅうりっぷぐみ一期参観・面談期間 10:00～12:30  
(面談は、12:00～)

18日(木) お誕生日参観の日

22日(月) 大人に感謝する日の礼拝

24日(水) 内科検診(全園児) PM1:30～

29日(月) 花の日礼拝(お家からお花を一輪持って来て下さい。)

30日(火) さくら・ばら桂消防署訪問 \*9時までに朝の準備が終えるように登園して下さい。

30日(火)・31日(水) 幼児ぐみ 尿検査

◇おいでよ赤ちゃん 2日(火) 9:45～10:30 3組まで

◇園庭開放 9日(火)・23日(火) 9:45～10:45 5組まで

◇ぶどうにあつまれ 16日(火) 9:45～10:30 3組まで

◇どよっこクラブ 27日(土) 9:30～10:30 7組まで

\*それぞれ、事前に申し込みをお願いします。

クラス・グループ懇談会の時間下記の内容で保育をさせていただきます。

○ご両親揃ってお休み、おじいちゃん、おばあちゃんの協力が得られるなど、お家でお子さんが過ごす事が出来るご家庭は御協力をお願いします。

○クラス懇談会に参加している間、保育を希望される方は、土曜保育希望用紙に保育時間を記入して下さい。

(6日) ちゅうりっぷクラス・さくら・ばらグループ懇談会の時間 9:00～10:45  
すみれクラス懇談会の時間 13:15～15:00

6月前半の予定をお知らせします。

1日(木) お弁当の日

ゆり: 西京消防署訪問 \*9時までに朝の準備が終えるように登園して下さい。

\*水筒を持って出かけるので、ひもを付けて来て下さい。

3日(土) 離乳食をつくってみる会

5日(月)～16日(金) たんぽぽ面談期間 13:30～・2:00～

8日(木) お誕生日参観の日

12日(月)～13日(火) ゆり: 八瀬野外保育センター お泊り保育



《春を見つけたよ!》



去年の秋、子ども達が植えたちゅうりっぷの球根が芽を出し、3月後半から花が咲き始めました。園庭に出ると幼児の子ども達が水やりをしてお世話をしてくれました。また、築山の草の中にダンゴムシやアリがいるのを見つけると、子ども同士で見せ合いが始まり、春をたくさん見つけて楽しんでいました。園庭や散歩に出かけた時に、四季を感じられるものを子ども達と探していきたいと思います。



<大人に感謝する日の礼拝>



5月の第二日曜日は「母の日」です。園では「大人に感謝する日」として毎年取り組ませて頂いています。母の日の由来は、アメリカのアンナ・ジャービスさんが最愛の母を亡くしたあと、母への感謝をあらわす日を創設しようと運動を開始したのがはじまりといわれています。

カーネーションはアンナさんのお母さんが大好きな花だったそうです。子どもたちは、お母さん・お父さんそしてまわりの大人から限らない愛情に包まれ育てられることで自らの存在の意義を確信するといわれています。子どもたちとともにいる幸せをいっぱい感じたいものです。

(母の日に子どもと一緒にぜひ読んでほしい絵本を紹介いたします)

「おへそのあな」長谷川 義史

